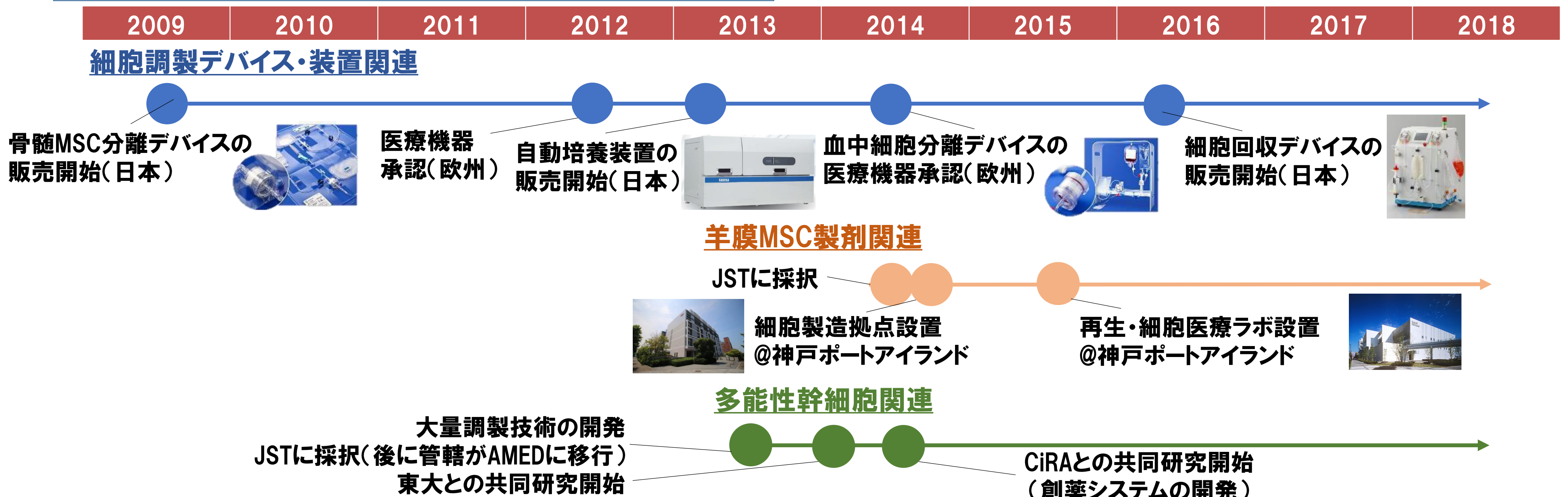




カネカの再生・細胞医療への取り組み ～臨床応用可能な羊膜MSCとiPS細胞大量培養技術～

カネカの再生・細胞医療への取り組み



臨床応用可能な羊膜MSC

2014年より、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の産学共同実用化開発事業 (NexTEP) 「羊膜由来間葉系幹細胞(羊膜MSC)の細胞製剤化と治療応用」を開始

拠点紹介

- 神戸医療産業都市に研究開発拠点及びGCTP準拠の細胞調製施設 (CPC)を設置
- 「特定細胞加工物製造許可証」を取得 (2016年)



R&D拠点

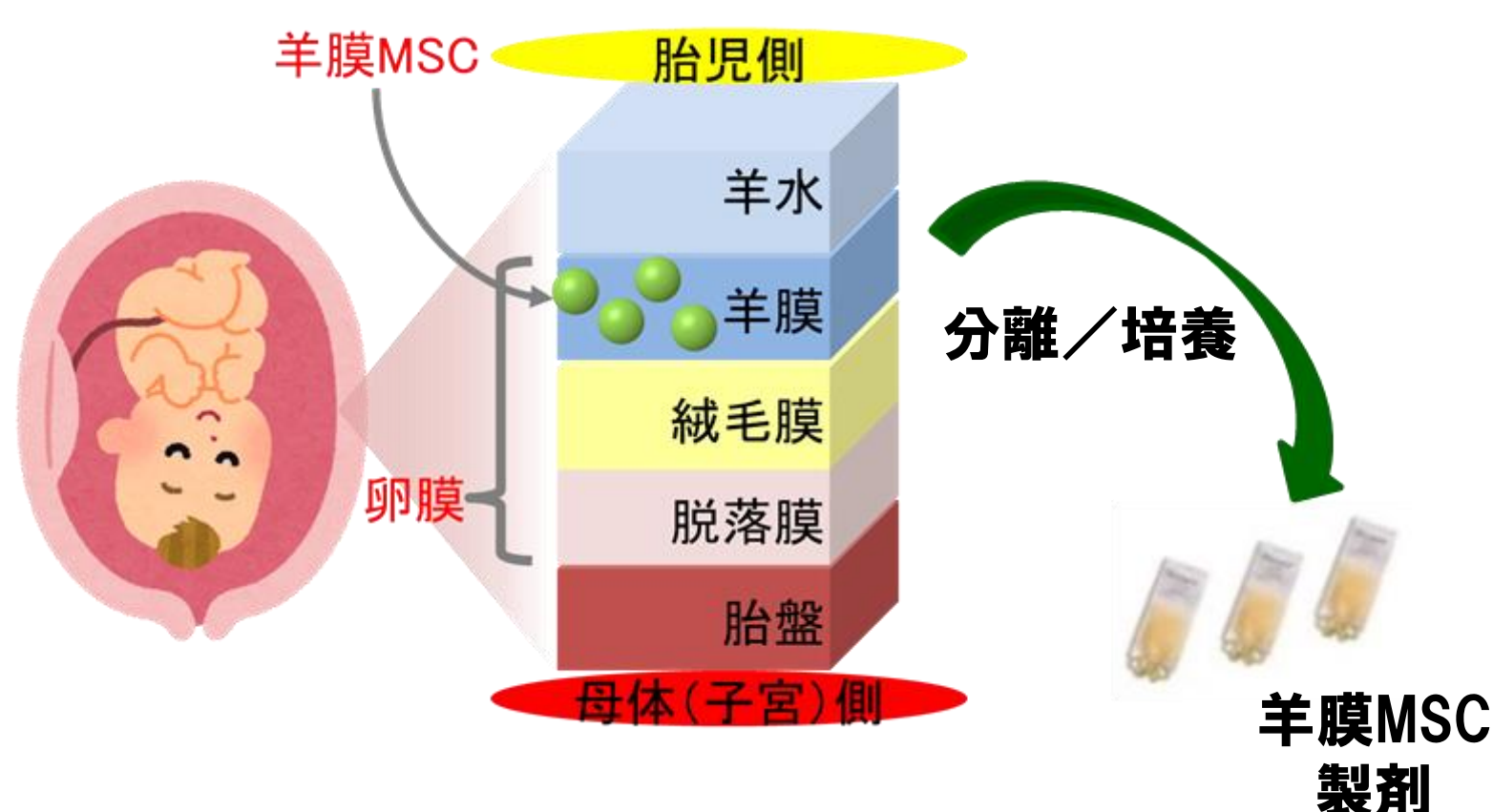


CPC

⇒ 臨床応用可能な羊膜MSCの製造が可能に！

羊膜MSCの特徴

- 羊膜の国内調達が可能
- 大量培養技術を確立 (商業レベルの供給に目処)
- 低免疫原性/高い免疫抑制効果
- 動物実験での好成績 (非臨床安全性/各病態モデルでの有効性)

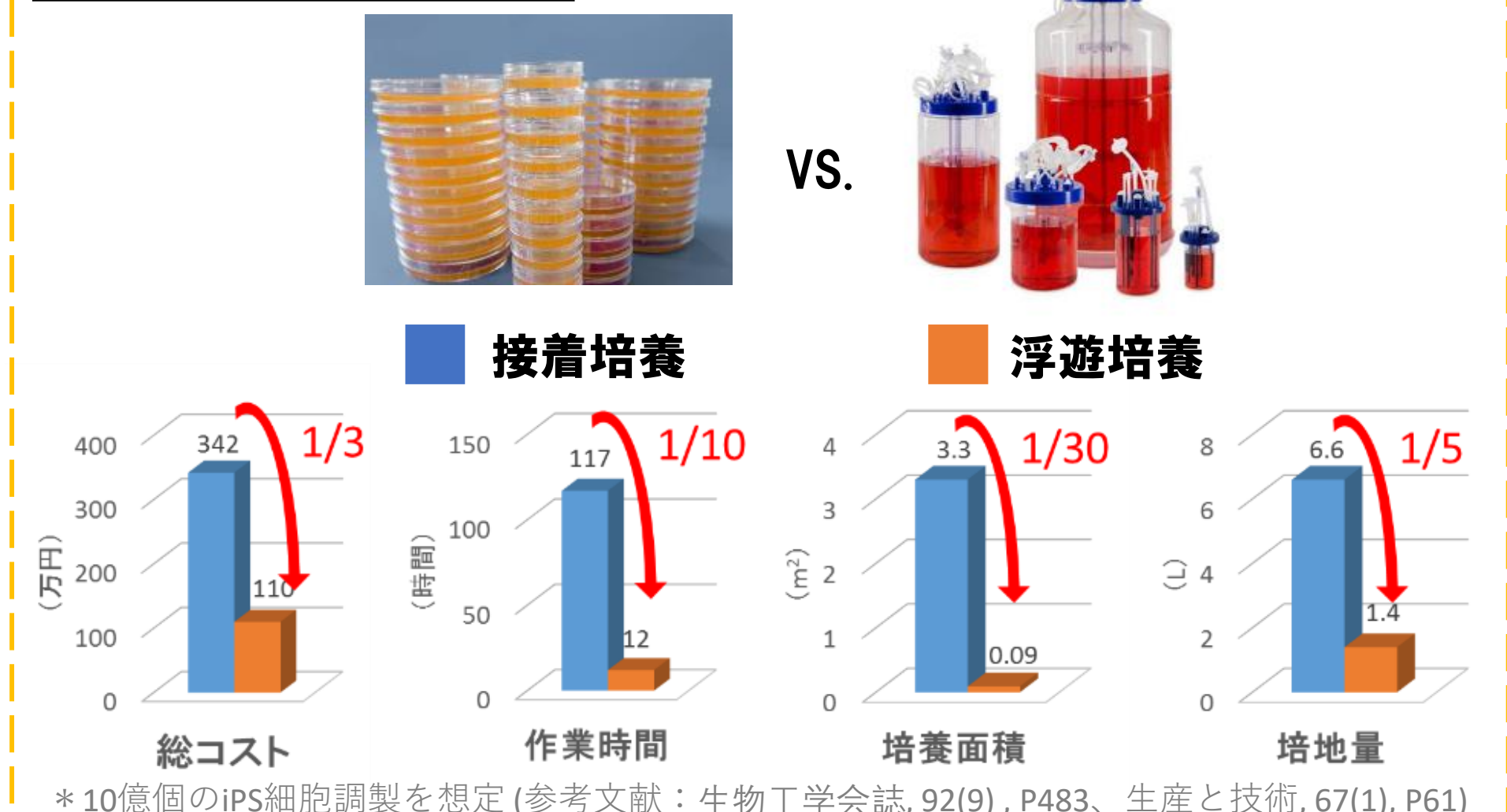


⇒他家細胞移植治療に好適！

iPS細胞大量培養技術

iPS細胞の簡便かつ安価な大量培養を実現するための革新的な浮遊培養技術の開発

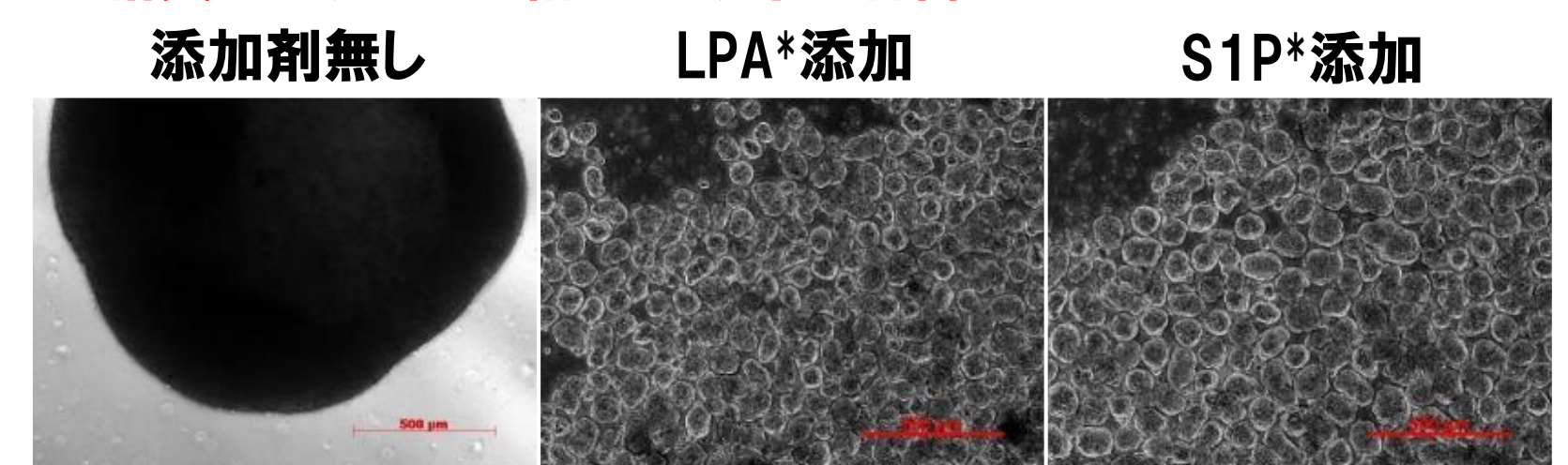
iPS細胞の培養方法



浮遊培養技術(安価大量培養技術)の確立は多能性幹細胞の社会実装に欠かせない

脂質を用いたiPS細胞浮遊培養技術

リポリン脂質の添加でiPS細胞の凝集を制御 (特許第6238265号)



市販の培養容器を用いたiPS細胞の浮遊拡大培養に成功(>10億個)

弊社では今後もオープンイノベーションを積極的に推進し、早期に再生・細胞医療の社会実装を実現していきます。「臨床応用可能な羊膜MSC」や「iPS細胞の浮遊大量培養技術」についてご興味をお持ちの方は、是非ご連絡ください。

*2019年2月作成